



南舞岡小だより



学校所在地 〒244-0814 横浜市戸塚区南舞岡4-15-1 (TEL23-4120,4130)

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/minamimaioka/>

委員会活動で育む力

学校長 地主 佐和子

明日6月1日は本校の開校記念日です。校長室にあります「開校宣言」には昭和56年4月1日に開校を宣言とありますので、6月1日を開校記念日とした理由を調べているところです。41年前の学校の写真や当時の関係者の思いにふれつつ、毎日学んでいる目の前の子どもたちを見ていると、受け継ぎ、受け継がれる学校のよき伝統について、じっくり考えてみたいと思い始めているところです。

さて、5月18日に委員会活動の時間がありました。本校では5、6年生の全員が1つの委員会に所属し、学校全体の「生活を共に豊かにする」ために活動しています。この日は今年度2回目、私はすべての委員会の様子を参観しましたが、どこも「生活を豊かにする」ための活動が展開されました。例えば運営委員会は、「生活を豊かにする」ために開かれる子ども会議の司会、副司会などの役割を分担していました。図書委員会は、図書委員会のめあてを実現させるための活動計画を話し合っていました。そのめあてとは「全校のみんなが楽しく本を読むように」というもので、これはまさに「生活を豊かにする」そのものです。紙面の都合で全委員会のこの日の活動を紹介することはできませんが、その他に放送情報委員会、動物環境委員会、健康食育委員会、運動安全イベント委員会の合計6つの委員会があります。各委員会とも学校生活の充実と向上をめざし、子どもたち主体で活動しています。

この委員会活動が41年前の本校の教育課程にどのようにあったのか（種類や数や所属の仕方等々）わかりませんが、今の子どもたちは、1人1つの委員会に所属し、活動を通して様々な力を習得しています。紹介をした2つの委員会で言えば、運営委員会の場合、役割を分担する活動において、自ら選定する中でその意思表示を異学年の集団の中で行い、重なった場合や希望者がいない場合などに調整する力を養うことになるのでしょう。また、子ども会議で話し合われた内容を実践していくときにも自分の役割があり、その役割を通して自己の責任を果たし、達成感を味わうことで、主体的に学ぶ意欲を高めていくことにもなります。図書委員会で言えば、「本の貸出期間を長くするのは本が好きな人には有効だが、そうでない人にはあまり効果がない。だからおすすめの本をまとめて紹介する活動を入れる。」という意見が出ていたように、全校のためによりよい活動をつくらうとしています。これは多様な他者を理解し、課題を自分のこととして捉えて解決する力を育むことになるのでしょう。このように学校のリーダーとして育てている6年生、5年生の各委員会で、今年度の40周年にかかわる活動も進めてまいります。上級生の活動を下級生にどのように伝え広めていくか、見守っていただけると幸いです。